

ほぼ月刊 んだもしたん

(諸県弁の「まあ、どうした事でしょう...」)

N. danmoshitan

八代亜紀杯全国オープンラージボール卓球大会

八代市と歌手の八代亜紀主催の全国ラージボール卓球大会に出場しました。南は沖縄県、東は茨城県から。男女合わせて百十チームの参加でした。毎年、最終日に八代亜紀さんも来場のイベントがあるのですが、今年はスケジュールの都合でどうしても帰って来れない！と。結局、録音された本人の生の声での説明が

あり、八回目にして初めての八代亜紀さん見たさに参加される人も多いのでとても残念でした。

試合は四人一組で実力レベルで分かれて行われる団体戦があり、私たち安藤塾チームは一番上のクラスで、苦戦しながらも決勝まで上がりました。決勝では昨年も優勝している山口県のチームと対戦し



進みたいと思います。(誠)

還暦

先日、主人が誕生日で還暦を迎えました。長寿社会のご時世、今更還暦祝？とも思ったのですが、本人たつての希望で祝いの席を設けることになりました。

今から二十年前。私の父の還暦のお祝いは私の姉妹4人で計画を立てて準備をしました。ところが！我が子供達はどうと、食事会の場所探し、料理の手配、花束、ケーキ、プレゼント...全て私に丸

書き出し、順番を決め取り掛かりました。昼間は私の弟と妹の旦那達とゴルフ。夜は総勢十四人で食事会となりました。赤いちゃんちゃんこ、赤い帽子、赤い座布団。満面の笑みを浮かべる主人を見ていたら、還暦お祝いして良かったな〜と。

投げ？みたいな。何と無責任な子供たち...と嘆いても仕方ないこと。すべき事を紙に

思えば主人の兄が還暦を四ヶ月後に控えた時に亡くなり、その後を追うように母が亡くなり...。母子家庭で家族三人で過ごしてきた主人にとって、「お袋、兄貴、俺は元気に還暦を迎える事が出来たよ。ありがとう。」という感謝の気持ちを伝えたいとの



(直美)

ランチ野郎

見参!

「とり天って何なのっの巻」

から揚げ、焼鳥、チキン南蛮、親子丼...etc。数ある鶏料理の中で、宮崎ではあまり聞き慣れない「とり天」と言う食べ物がお隣の大分県にあるという事で、「とり天」発祥の店、「レストラン東洋軒」に行きました。



な感じになっているので、唐揚げではなく、やはり、天ぷらのイメージです。ポン酢とマスタードを付けて食べるので、サッパリした味わいで美味しくいただきました。



なるので、カットして下さいと注文すると写真のようにカットしてもらえます。四本注文して、その中の一本を早速食べてみました。(とり天を食べたばかりですが...。やっぱり、美味しいー! 甘辛いカンピョウと鰹の風味が何とも言えないくらい美味しい! バランスで仕上がっています。



覚悟という事で十時三十分に着！ところがすでに店舗前の駐車場は満車！受付に名前と人数を記入して待っている。とオープンと同時に順番に名前を呼ばれていきます。自分たちが呼ばれた時は一階がすでに満席。二階に案内されましたが開店二回目に呼ばれたのでラッキーでした。二回転になると最低でも十三分以上は待たなくてはいけない事になるので、早めに到着したほうが良いと思います。

「とり天」は丸っこい物を想像していたのですが、実際は長細く、衣もサクサク軽い

「野田商店」の太巻きを購入した後は、「業務スーパー」に買い物に行きました。九州に「業務スーパー」は福岡、鹿児島、大分県別府市の三ヶ所しかありませんが、日本版コストコと言われるくらいお買い得な商品があります。

「ニューヨークの、よふある話」(看板編)

看板はどれぐらいもつのか。それは設置場所の環境に大きく影響されるものです。たとえば、青島近辺で鉄骨看板を作っても、潮風によって錆が

出やすいです。逆に、山間部でいつも日陰。強風がほとんど吹かない、雨も当たらない様な場所なら長持ちします。

正直なところ、環境を見てみないと、耐久性も予想すれません。最近はお客様のお問い合わせ・お電話でも、住所でグーグル検索するとストリートビューで見える範囲で大体のことがわかります。具体的な設置方法は、外壁を叩いてみたり、地面を掘ってみないと出来るかどうかかわからない部分もあります。が、おおよその見当がつくのは時代の進歩のお蔭ですね。

長持ち重視なら、シンプルな構造でマメな清掃をオススメします。複雑な構造は、それだけ風の影響を受けやすいことも。台風メッカの宮崎は、強風による落下は常に不安要素です。また、切り文字・別名チャンネル文字も立体的であるために、経年による雨の



講習技能検点物点告

しずくからの水垢がダラダラと。清掃・メンテナンスしやすい看板にしておくことで安心・安全です。

先日、弊社スタッフ二名が「屋外広告点検技能講習」を受講いたしました。老朽化による落下事故を防ぐべく「定期点検・改修」の大切さを改めて痛感したところです。

早めの点検・修繕で安く済むものが、放置した結果、大事故・賠償問題に発展する様な案件もございます。まずは、事務所の看板の傷み具合の確認をお願いいたします。場合によっては、即時撤去すべきものもあるかもしれません。もしも、ご自身で判断がつかない場合は、お気軽にお問い合わせください。(帖)

「いんちぎクライマーが行く！」

「宮崎県最高峰 雪の祖母山」編

祖母山は、大分県との県境にあります。なんとって、宮崎県最高峰の標高1756mです。いくつかのアクセス方法がありますが、今回は高千穂町の五ヶ所地区からの、北谷登山口より登ります。

朝五時半に宮崎市を出発。高千穂町に入ると、道沿いの温度表示板がマイナス2℃をさして...大丈夫か？ 登山口まで行けるのか？ 舗装路は大丈夫だったが、林道は凍結があり、何度かリアタイヤが流れる...おそろしや。超低速運転で無事に北谷口に到着。時刻は八時半。



いざ出発。一合目は日陰の部分に雪が残る程度。四合目をすぎるとさすがに足元が悪くなっている。油断するとツルツルと滑る。雪は力チカチカになっている。登りの連続で呼吸が荒くなってくるが、寒さのせいかな汗はあまり出ない。雪を蹴り込みながら急坂を

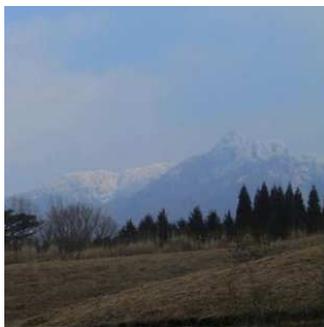
登る。五合目。ここあたりからさすがにアイゼンを使用やわらかい雪と凍ってツルツルの場所が交互に出てきます。そして、三県境。大分、熊本、宮崎の三県をまたぎます。何か楽しいね。樹氷に陽が当たると、花びらのようにキラキラと明るく光ります。七合目を越え、国見峠へ。雪化粧の山頂が見えてくる。ここから険しい登りが山頂まで続きます。八合目をフウフウいっつ、やっと来ました九合目。雪を積もらせた枝が行く手を塞ぎます。残り少ないエネルギーを絞り出し、ボクサーのように上体を振って、ダッキ



ングでかわしつつ前進。そしてついに、おお山頂。色の無い世界です。誰の足跡もまだありませんでした。



セルフタイマーで一枚。見下ろす山々の尾根は雪・雪・雪。15分、山頂を満喫したらすぐに下ります。楽しいけれどもとてもくつろげる場所ではない。寒いのだ。下って九合目あたりで、本日初めて人と遭遇。竹田側の神原からの登りでした。きつと難儀して登ってきたんだろうなあ。互いに健闘を讃えあい別れます。帰路、祖母山をふりかえる。雲にかすんでいるが、さっきまで、あのテッペンにいたんだよなあ...。おお寒！ (賢)



編集後記

令和元年を迎え、私はドキドキです。興奮と不安が半々でしょう。でも、全部をひっくり返して、「ワクワク」したいと思います。あいさつひとつ、笑顔ひとつでも「ワクワク」出来ます。こんな風に思い始めたのは、二年前の出張先での交通事故がきっかけです。信号無視の車両が私を跳ね飛ばしました。即、救急車で運ばれるほどでしたが、お陰様で今はこの「んだもしたん」の記事を書けるほどに？(笑)あのととき「全」を失う前に、クヨクヨ・モヤモヤ・イライラしている時間よりもずっと「ワクワク」していた方がいい！と思える様になりました。

AIや機械化・オートメーション化が進んでも、「ワクワク」を求め、響き合う人の心は残り続けるはず！

皆さん、毎日ワクワクしてますか？ (帖)